

「情報発信プロジェクト」中高生によるビブリオバトル福島県大会

県の事業「ふくしまの未来をひらく読書の力プロジェクト」の一環として、11月9日(土)に県立図書館で県大会が行われました。県南域内の中学校からは、次の2名が出場し、紹介する本への思いを豊かなプレゼン力を発揮し、観戦者に伝えることができました。

中学生の部では、表郷中学校3年の荒井結花さんが決勝に進み、「優秀賞」に輝きました。



荒井さん(表郷中) 優秀賞!

＜大会出場者と紹介本＞

- 表郷中学校 荒井結花(3年)「かがみの狐城」
- 泉崎中学校 滝沢暖梨(2年)「よるのばけもの」

学校と地域の連携・協働

棚倉町では、今年度から各学校での地域連携担当教職員の任命に伴い、7月には町内の小・中・高の担当と行政担当者で今後の進め方について会議を行いました。その後、10月に地域学校協働活動推進員の委嘱状交付と説明会を行い、各学校への支援のニーズの把握や地域の協力体制づくりを確認しました。学校と地域の協働連携を進める上でも、地域コーディネーター(協働活動推進員)の位置づけと行政の支援は必要不可欠です。地域人材の有効活用、教員の多忙化解消に向け、各市町村での体制づくりを引き続きお願いします。



委嘱状交付(棚倉町)

実践事例の紹介

棚倉町立近津小学校

平成30年に近津小学校学校運営協議会が設置され、日常的に学校教育をサポートして下さる方を募集し「ちかサポ」を組織しています。支援の種類により次の部会を組織して、学校教育活動を地域をあげて支援しています。

- 環境整備部
- 伝統・文化・体験部
- 職業体験サポート部
- 学習サポート部
- 安全部

このような支援で、児童の基礎的・汎用的能力や意欲が着実に育成されています。



白河市立東中学校

総合学習で、キャリア教育の視点でテーマ(ひがしのいと未来科)を設定し、縦割り班ごとに中テーマにもとづき、地域や企業の方々のご協力でも学習を進めています。また、11月には「東地区内ウォーキング」を実施し、東地区の神社・祠を巡り歩かれました。コースごとの課題がある中で、班で協力してそれをクリアしながら楽しく活動しました。



「ふくしまの未来」へつなぐ体験応援事業

塙町青少年育成町民会議(11/13-30)

児童対象の体験活動「はなわ探検隊」9月の活動の一環として、プロの作品を鑑賞し動機付け後、指導も受けて撮影した町特産のダリアの写真を町美術館でコンテストし、塙町立あぶくま高原美術館の写真展で結果発表・展示しました。今後JR主要駅(新白河駅 12/6~12/15、福島駅 12/23~12/29)や首都圏でPRを行います。

※ この事業は、学校・PTA・行政・民間団体等の資金面で有効活用できる魅力的な内容です。



“ひがししらかわ” 輝くふる郷体験事業

過疎・中山間地域連携事業の一環として、地域の人材を活用した体験活動を通して、地域のよさを再発見して、次代を担う人材を育成します。



六万石棚倉太鼓(10/30)
【棚倉小学校】

6年生が11月の学習発表会で地域や保護者の方々に披露しました。



ダリア染め体験(11/12)
【笹原小学校】

笹原小の6年生が花壇で育てたダリアを使って体験しました。



組子細工教室(11/15)
【矢祭小学校】

講師の方の実演を見学し、各自が思い思いの作品を制作しました。



そば打ち体験(11/27)
【鮫川小学校】

鮫川そばクラブの方のご指導で、6年生がそば打ちに挑戦しました。

家庭教育応援企業 認証書交付

平成27年度から始まったこの事業は、家庭教育を推進するための環境づくりに取り組む企業等を募集し、資料の提供、運営のアドバイス、講師の紹介等の支援を行い、地域の家庭教育の推進を働きかけることを目的としています。県南域内では現在71社が登録されています。今後も、応援企業を募集し、家庭教育の推進をさらに働きかける企業があれば、県南教育事務所まで連絡をお願いします。



認証書の交付
【中島村 富士工業】

生涯学習・社会教育事業アラカルト

公民館訪問・社会教育研修会(11/14)・・・白河市

社会教育委員・公民館運営審議委員、公民館と生涯学習スポーツ課の職員が参加して研修会を開催しました。「社会教育事業及び生涯学習事業の推進」というテーマで全体協議を行い、参加者からはそれぞれの立場で、様々な質問や意見が出ました。教育事務所でも、この研修会での意見や要望を参考にして、各市町村と連携しながら、生涯学習・社会教育の推進に努めていきたいと思っております。



親子の学び応援講座(11/16)・・・笹原幼小PTA「情報モラル教室」

県の「地域でつながる家庭教育応援事業」の一環として、矢吹病院の角田智哉先生を講師にお迎えし、「メディアと心の健康」というテーマで講演会を行いました。小学校の授業参観日に設定し、4年生以上の児童、小学校と幼稚園の保護者、教職員約100名が参加しました。講演後に保護者からは「話の内容がとてもわかりやすく、家庭でもすぐに実践したい。」、児童からは「講演で教わったクイズがよくわかったので、家に帰ってから兄弟や家族に出した。」などの感想が聞かれました。



道徳教育地区別推進協議会(11/20)・・・泉崎中学校

域内の小・中・県立の教員とPTA役員が参加し、授業参観と研究協議が行われました。研究協議では、「学校・家庭・地域の連携を図った道徳教育のあり方について」のテーマで、グループごとに熱心な話し合いがなされ、家庭教育の重要性を再認識することができました。このように、校種を越えて教員とPTAが話し合う場を設定することにも大きな意味があると感じました。

